



---

# MUSIC MISSION QuickStart

## [Anubis + Music Mission](#)

### [使用する前に](#)

[Expert Mode に入る](#)

[LCDとボタンの輝度を下げる](#)

### [実際の使用例](#)

[GUI の解説](#)

[DAWからの信号を Anubis の AUX IN に割り当てる](#)

[操作](#)

[フェーダー](#)

[パンナー](#)

[設定例の解説](#)

[Anubis の出力をアサインする](#)

[必要ない Strip を非表示にする](#)

### [モニターレベルとモニターSOURCE/GUIの変更](#)

### [ヘッドフォンのレベル](#)

### [PLAYBACK](#)

### [TALKBACK](#)

### [ブロック図](#)



## Anubis + Music Mission

Anubis + Music Mission は、Anubisを Cue ボックスとして使う事を目的としたファームウェアです。Music Mission では、Anubisが持っているライブ入力と RAVENNA/AES67 のストリームをミックスして複数の出力に送り、聴くことができます。

- 入力はデフォルトで本体のアナログ入力が全てミキサー上に表示されています。
- その他に、AES67ストリームをステレオ 5系統がミキサー上に表示されています。
- ネットワーク上に Merging社製 Horus, Hapi MKII がある場合は、これらに装備されている物理入力を Peering して表示させることができます。
- 出力バスは、MIX, ALT-MIX, CUE 1-5 の 7 つのステレオ バスがあります。
- Mix と ALT-MIX は同じミックスバランスを共有しており、別の物理出力を割り当てることができます。
- 各出力は、本体の出力ポート または ネットワーク上に Merging社製 Horus, Hapi MKII がある場合は、これらに装備されている物理出力に Peering して出力することができます。

デフォルトGUIでの名称	接続されている信号や出力先	用途
MIC1-2	ライブ入力	DAWへ送り録音/演奏者モニターのソース
LINE	ライブ入力(この例では不使用)	この解説では使用しません
MIX	DAWのメインミックス出力	エンジニアと演奏者のモニター
AUX 1-5	DAWのAUX出力	演奏者モニターのソース
CUE 1-5	演奏者1-5のヘッドフォン	演奏者用のモニター出力
SENDS 1-3	この解説では使用しません	この解説では使用しません

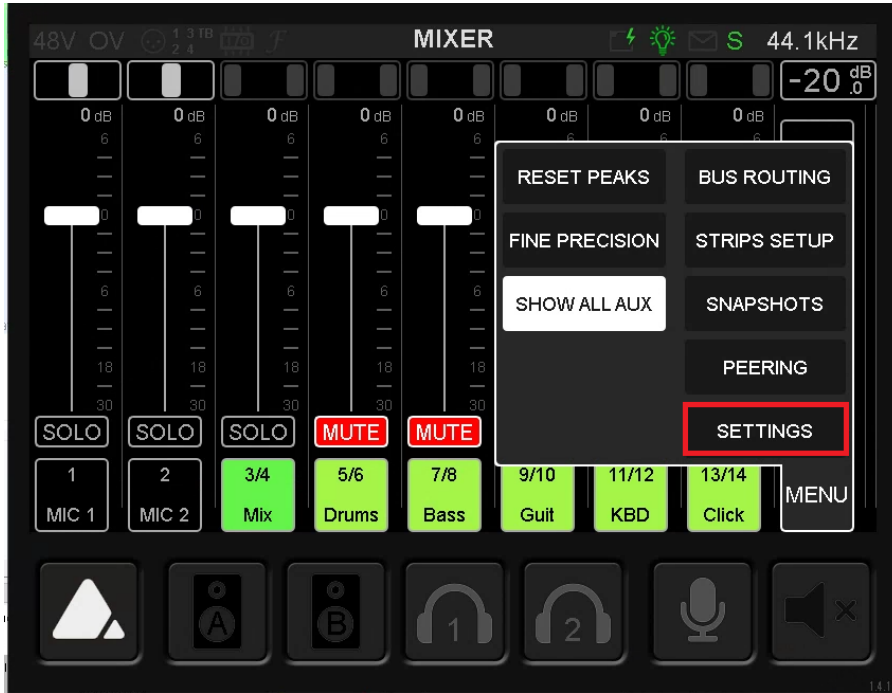


## 使用する前に

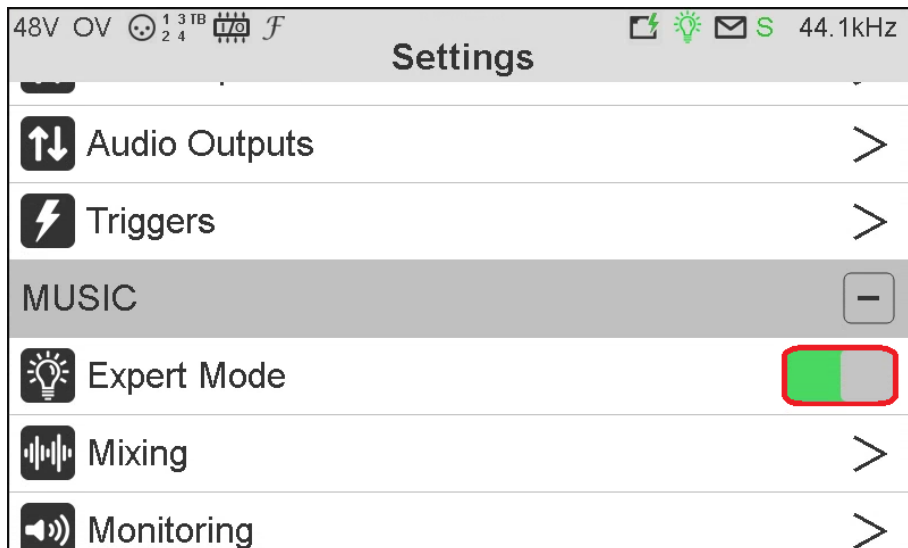
### Expert Mode に入る

Expert Mode に入ると、5つの AUX 入力が全て表示されるようになります。

1. まず、画面上の **MEMU** にタッチし、次に **SETTINGS** にタッチしてください。



2. MUSIC メニューにある **Expert Mode** を **Enable** (緑の状態) にしてください。



3. 本体左下にある **Home** ボタン  を押して動作画面に戻ってください。

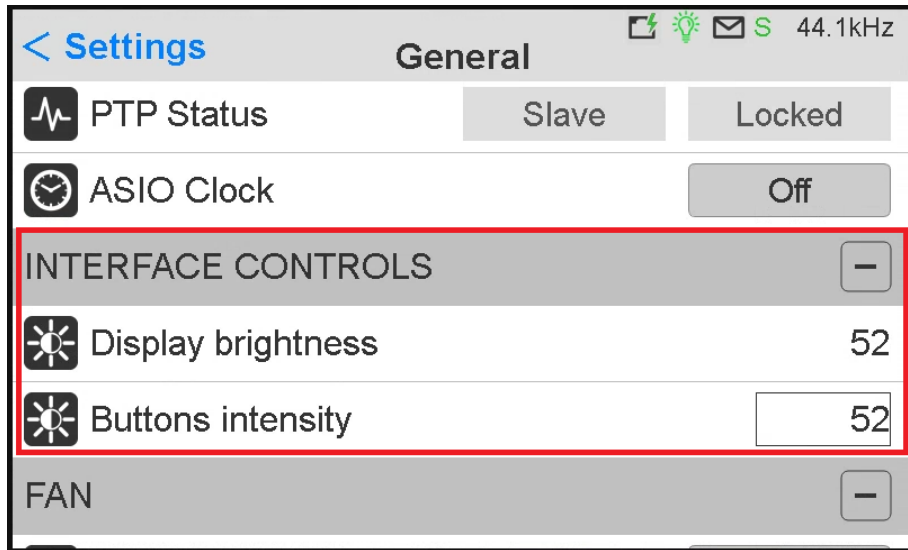
これで全ての入力が表示されるようになりました。



## LCDとボタンの輝度を下げる

環境にもよりますが、LCDとボタンの輝度を下げると、消費電力を抑えるだけでなく放熱にも影響を及ぼすことがあります。操作に支障が出ない程度に輝度を抑えておかれることをお勧めします。

1. 前ページ同様に **SETTINGS** に入り、**General** に入ります。
2. 画面を下にスクロールし、**INTERFACE CONTROLS** の中の **Display brightness** にタッチし、ロータリーボリュームで数値を適当に下げてください。
3. 同様に **Buttons intensity** の数値を適当に下げてください。



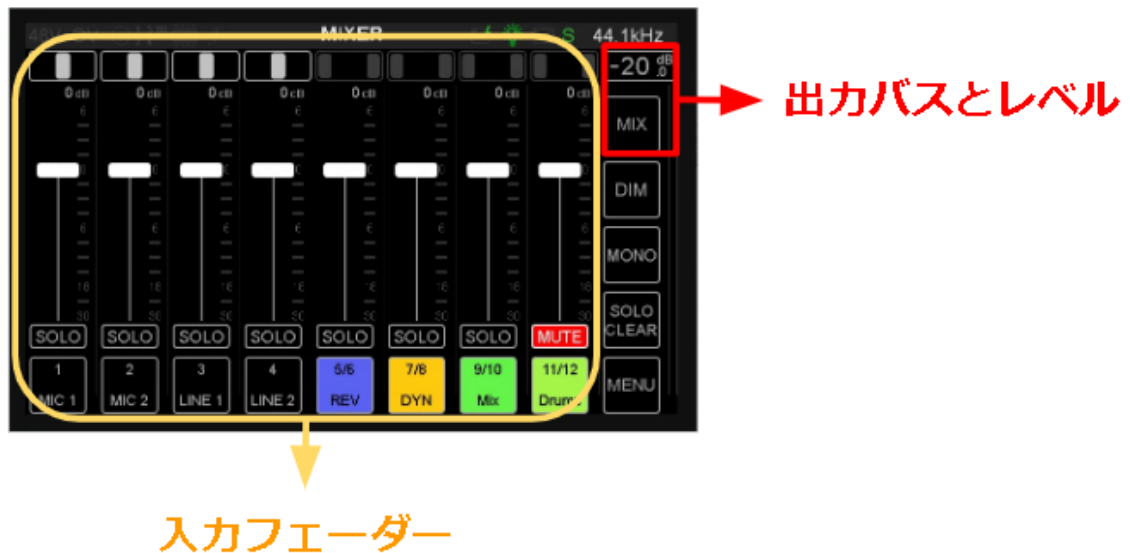
4. 本体左下にある Home ボタン  を押して動作画面に戻ってください。



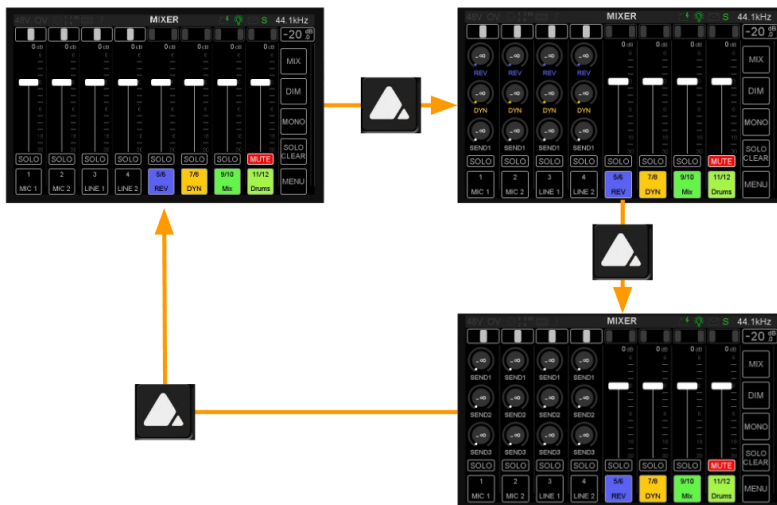
## 実際の使用例

### GUI の解説

- GUI のフェーダーは入力フェーダーで、出力バスへのレベルを決めます。
- どの出力バスに送っているかは、GUI右上で表示されています(次の図の赤枠部:この例では MIX というバスに -20dBfs で出力されています)。
- 左側4つが、Anubisの物理入力です。
- 次の2つは、Anubisが持っている Reverb と Dynamics のリターンフェーダーです。
- それ以降は、Anubisのステレオ ストリーム入力(AUX 1-5)の入力フェーダーが続きます。
- 画面を指でスクロールすると、表示がスクロールして表示されます。



- Homeボタンを押すと、物理入力から REV や DYN、Sends 1-3 への送りを調整できるツマミが表示されます(3つの画面がサイクルして表示されます)。





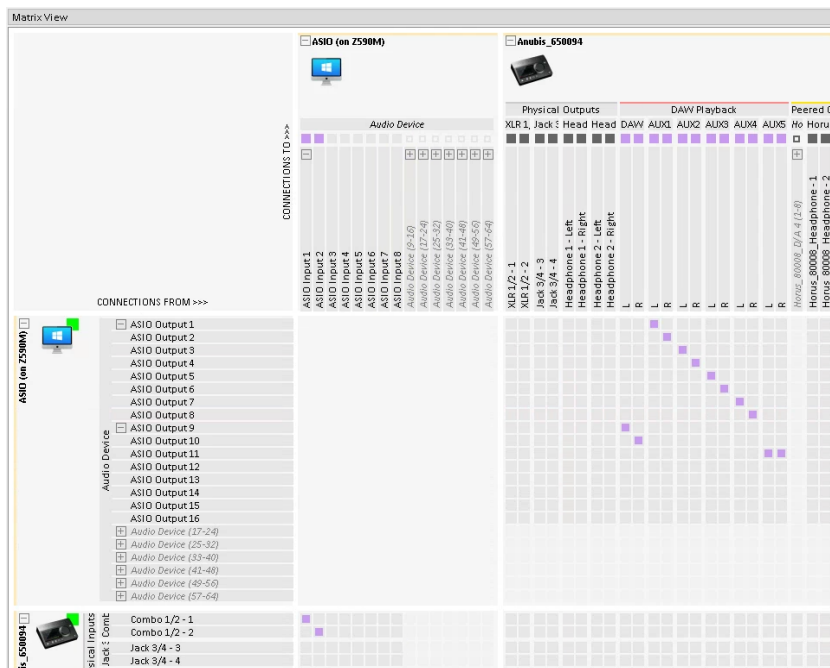
## DAWからの信号を Anubis の AUX IN に割り当てる

Anubisは、デフォルトで5系統のステレオ入力を受けることができます。これをDAWのミキサー出力から割り当ててみます。

- DAWのミキサーに、4つのステレオAUXを作成してください。
- これらを ASIO Output 1-2, 3-4, 5-6, 7-8 にアサインしてください。
- これらを Anubis の AUX 1-4 に送ります。
- DAWのミキサーのミックスバス出力は、ASIO Output 11 にアサインしてください。
- これを Anubis の DAW に送ります。
- ドンカマのクリックを DAW のミキサーのチャンネル ストリップのダイレクトアウトに立ち上げ、ASIO Output 11 にアサインしてください。
- これを Anubis の AUX 5 に送ります。

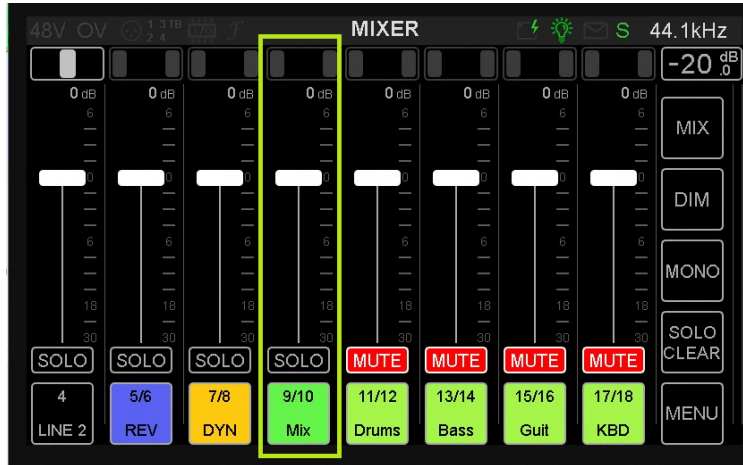
DAWのミキサー出力名	ASIO 出力名	Anubis の入力名
2 mix bus output	ASIO Output 9-10	DAW input
AUX 1 output	ASIO Output 1-2	AUX 1 input
AUX 2 output	ASIO Output 3-4	AUX 2 input
AUX 3 output	ASIO Output 5-6	AUX 3 input
AUX 4 output	ASIO Output 7-8	AUX 4 input
クリック出力	ASIO Output 11	AUX 5 input

- これらを ANEMAN で接続します。





- 後は DAW 側で、それぞれに何を送るかを定めることができます。
- コントロールルーム側では、DAW出力のみを Anubis の MIX / ALT MIX で聴くことになります。そのため MIX / ALT MIX のGUIでは、DAW のフェーダーのみが 0 dB に上がっていることとなります(他はMUTEしてください)。



Note: 前図では Anubis の XLR 入力が ASIO Input 1-2 に接続されていることに注目してください。これで DAW で ASIO Input 1-2 を録音すると、AnubisのXLR端子に接続された音が録音できる仕様としています。



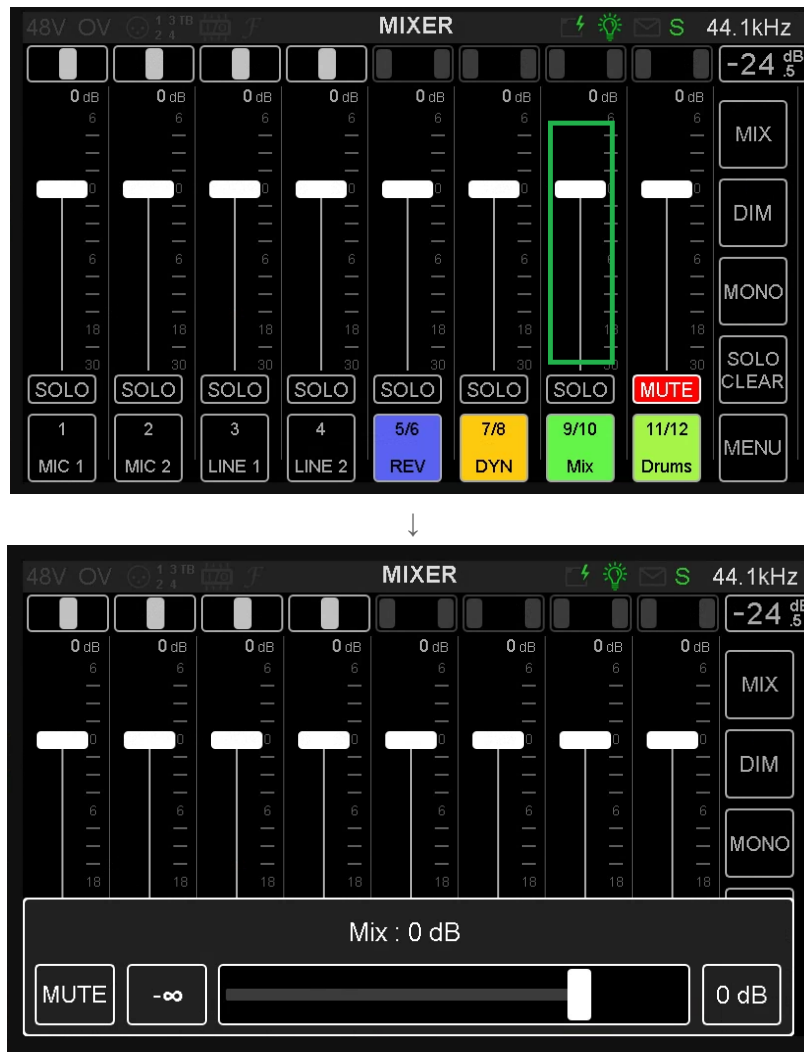
## 操作

この章では、フェーダーの上げ下げやパンナーの操作方法について解説しています。

### フェーダー

フェーダーは、GUI上に表示されていれば指でドラッグして動かしますが、 $-\infty$ になっていると指で操作することができません。

その場合、GUIのフェーダー(緑枠)部分にタッチすると、そのチャンネルの水平フェーダーがポップアップします。



この水平フェーダーを指でドラッグしてください。

操作が終わったら、画面の他の部分にタッチしてください。ポップアップが閉じます。



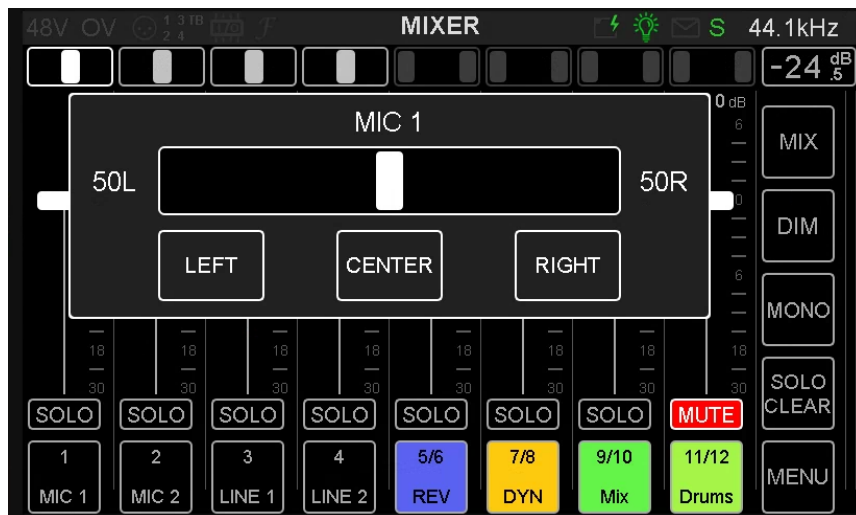
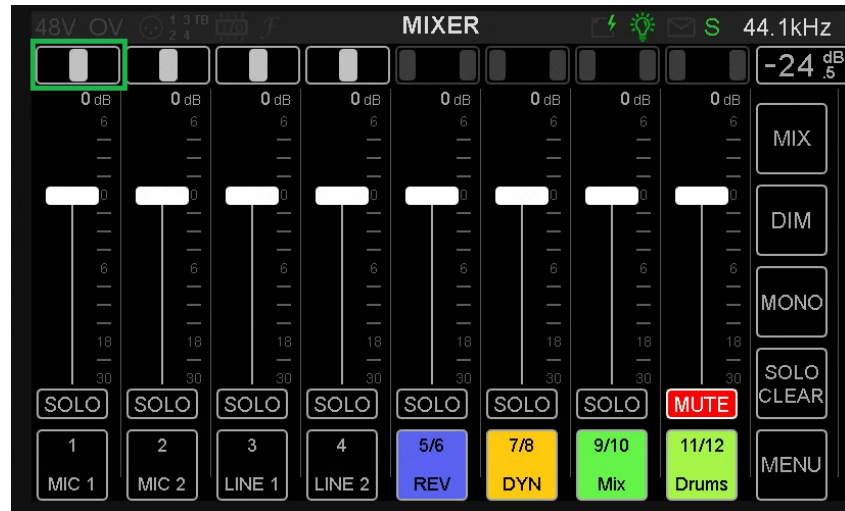


## パンナー

パンナーはライブ入力にのみ装備されています。AUXのパンニングはDAW上で行ってください。

GUIのパンナー(緑枠)部分をタッチしてください。

そのチャンネルの水平パンナーがポップアップします。



操作が終わったら、画面の他の部分にタッチしてください。ポップアップが閉じます。



## 設定例の解説

これから例として設定するAnubisの各端子をどのような用途に使用するかを解説します。  
実際には他の機器と接続して使用すると思われるので、あくまで参考としてお読みください。



コネクタ番号	コネクタ名	用途
3	DC IN	ACアダプターを接続してください
4	AES67(LAN)	PC(やネットワークスイッチなど)へ接続
6	LINE OUT	MIX ALT出力(ALTスピーカーへ接続)
7	MAIN OUT	MIX出力(メインスピーカーへ接続)
8	MIC/LINE IN	録音する機器(マイクなど)から接続してください



コネクタ番号	コネクタ名	用途
1	HP1	演奏者1のヘッドフォン
2	HP2	演奏者2のヘッドフォン



## Anubis の出力をアサインする

この例では、前ページの環境に合わせて

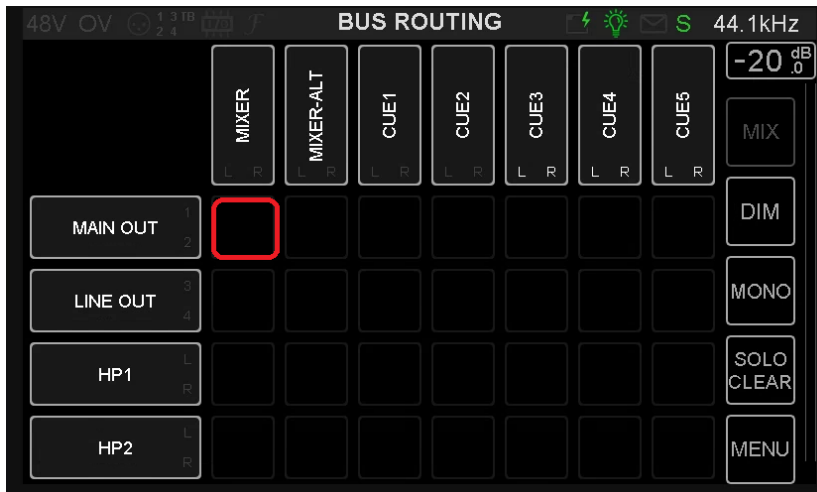
- Anubis ミキサー のMIX 出力を XLR 出力から出力する
- Anubis ミキサーの MIX ALT 出力を TRS 出力から出力する
- CUE1 を Anubis の HP1 端子から出力する
- CUE2 を Anubis の HP2 端子から出力する

こととして解説しています。

1. 画面右上の **MIX** にタッチし、サブメニューの **BUS ROUTING** にタッチしてください。

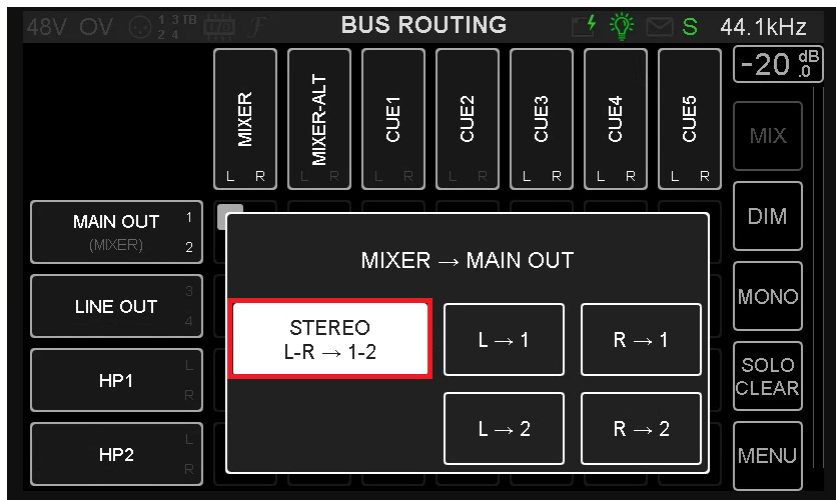


2. 表示されたルーターで、**MIXER** と **MAIN OUT** の交点 (次の図の赤枠部分) をタッチすると、ルーティングメニューがポップアップします。

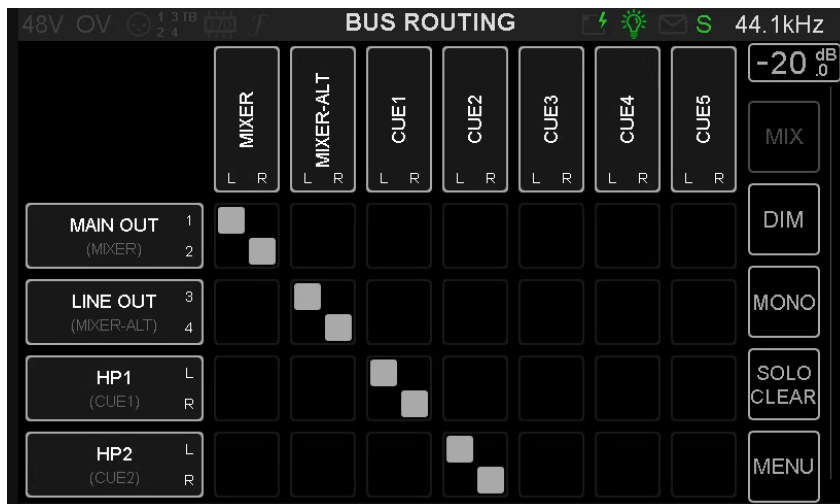




- 「STEREO L-R → 1-2」にタッチしてください。



- 次に MIXER ALT の部分にタッチし、同様に LINE OUT に、CUE1 を HP1 に、CUE2 を HP2 にアサインしてください。



- 終わったら本体左下にある Home ボタンを押して動作画面に戻ってください。

**Note:** ネットワーク上に Peer した出力があれば、CUE3,4,5 も同様にそれらの出力に接続することができます。詳しくは [Music Mission Appendix](#) を御覧ください。



## 必要ない Strip を非表示にする

以上の設定で、DAWからの MIX と AUX1, AUX2, AUX3, AUX4, Click が Anubis に接続され、フェーダーで音量をコントロールすることができるようになりました。

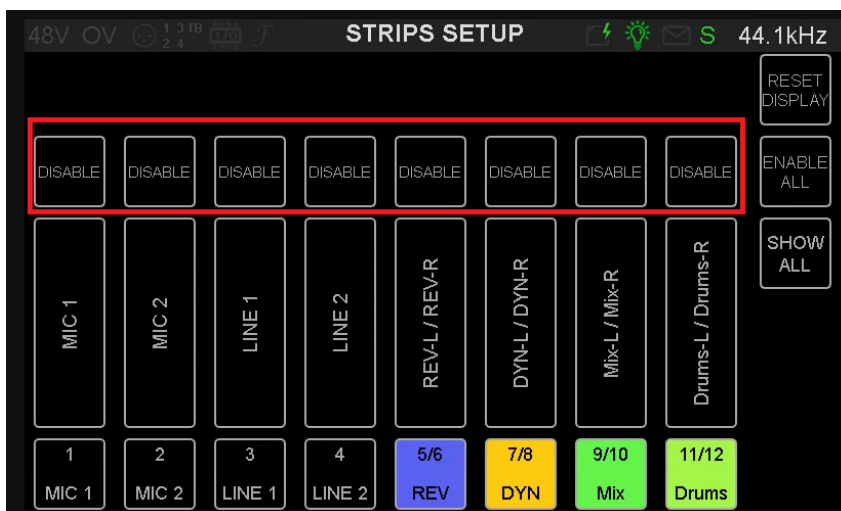
この解説では、REVやDYN、SENDS 1-3 への送りを使用していません。  
そのため、これらがGUI上に表示されていると、誤操作を起こす可能性があります。

その様な場合、これらの順番を入れ替えたり、非表示にすることができます。この解説では非表示にする方法のみを紹介しています。詳細は [Music Mission マニュアル](#)を御覧ください。

1. MENU にタッチし、サブメニューの STRIPS SETUP にタッチします。

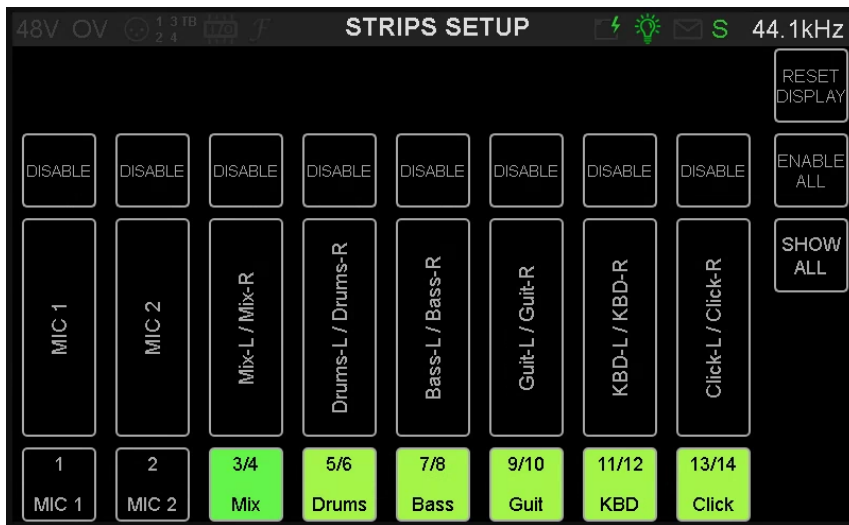


2. 画面が替わります。必要のないStripの DISABLE にタッチしてください。  
間違えた場合、右上にある RESET DISPLAY にタッチすると初期画面に戻ります。

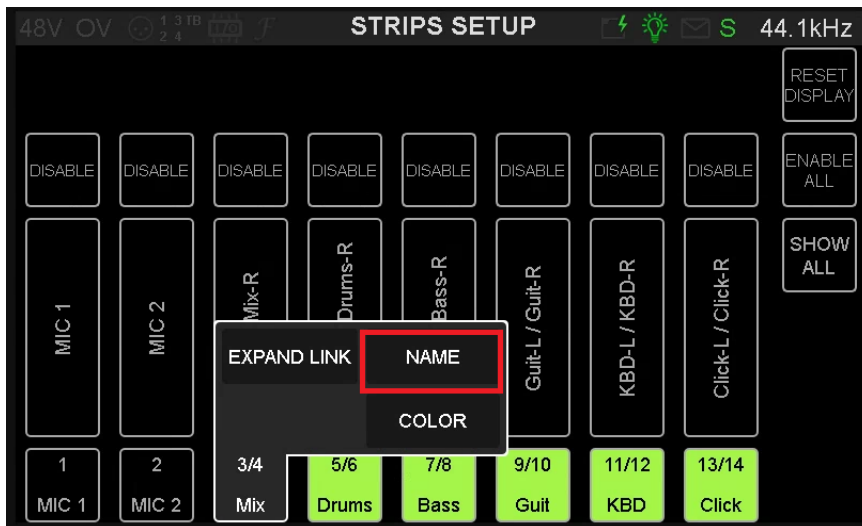




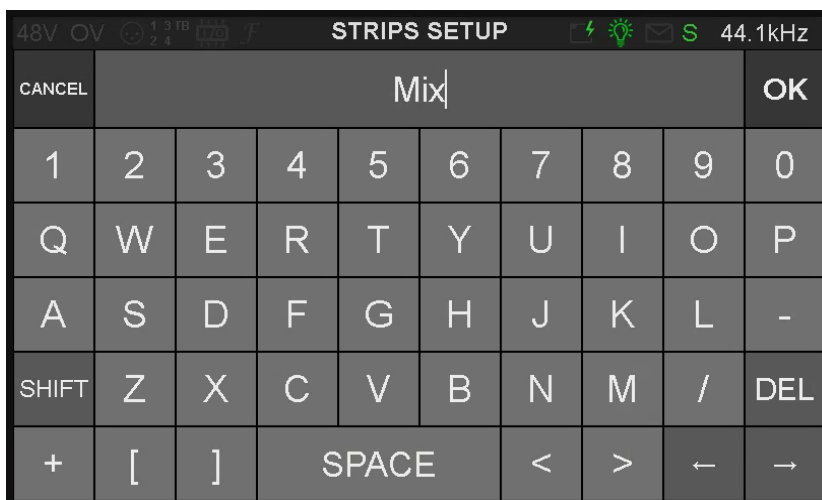
3. この例ではLINE 1, LINE 2, REV, DYN は使用しませんので、これらを DISABLE にします。



4. 次に名前を変更します。名前を変更するには、次の図の赤枠部分にタッチします。サブメニューがポップアップしますので、NAME にタッチします。



5. キーボードがポップアップしますので、適当な名前を入力してください。





6. 入力を終わったら **OK** にタッチしてキーボードを閉じてください。

他の STRIP にも同様に名前をつけてください。

全ての作業が終了したら、**HOME**ボタン でメイン画面に戻してください。



これでかなり見やすくなったはずです。



## モニターレベルとモニターSOURCE/GUIの変更

モニターレベルは 次の図の赤枠部分の数字をロータリーボリュームを回してコントロールします。



このGUIをタッチして左方向にドラッグすると次図のようなGUIが表示されます。



ここで、CUE 1 の C>M にタッチしてみてください。この操作により、CUE 1に出力されている音をMIX/MIX ALTに接続しているスピーカーで聴くことができます。



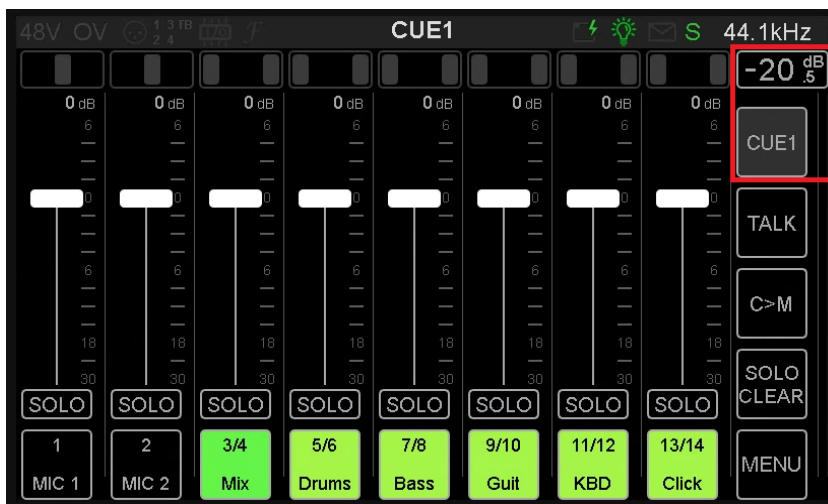




次に、ソース(現在 MIX となっている)部分にタッチすると、他のソースのGUIを表示させることができます。現在、使用している部分は、赤枠内の信号のみですので、これらのGUIを表示させることができます。



前ページで、現在モニターでは CUE1が出力されているので、この例では CUE1に切り替えてミックスの状況を GUIに表示させてみます。



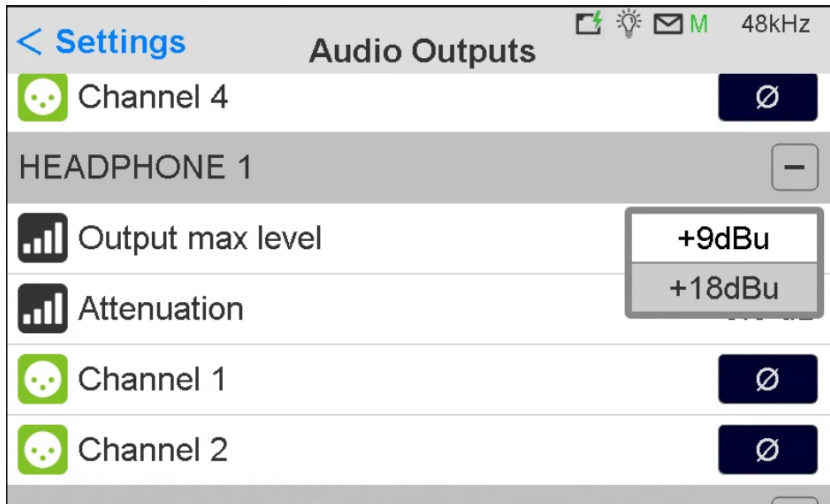
以上の操作で、演奏者の聴いているミックスを聴きながらミックスバランスを変更することができます。



## ヘッドフォンのレベル

演奏者にヘッドフォンの音量を大きくして欲しいと求めることは良くあります。

Anubisのヘッドフォン出力は、Settings > Audio Outputs > HEADPHONE1/2 で“Output max level”を+9dBu と +18dBu に切り替えられます。



+18dBu に設定した場合は、耳にダメージを起こさない程度の音量を保ってください。

## PLAYBACK

録音が一旦終わり、今録音した演奏を演奏者に聴かせるには、各CUEの M>C を押します。



この操作で、全ての CUE は MIX を聴くこととなります。



## TALKBACK



本体右下にある TALK ボタンを押すと、全ての CUE にTALKBACKを行えます。



個別に TALKBACK したい場合は、各CUEにある TALK ボタンにタッチしてください。  
次の例では、CUE1にのみ TALKBACK しています。





# ブロック図

